



つながりあい、学び、 届けられる組織へ！

一般社団法人 大阪府作業療法士会
会長 藤原 太郎 (株式会社 和ごころ)



6月1日(土)に大阪府作業療法士会2024年度定期総会において、今期の役員が選出され、新たなチームとして始動いたしました。

この度会長に就任させて頂きました藤原太郎と申します。2022・2023年度は関本前会長の「全ての世代に作業療法を！」の下、Withコロナを提唱しつつ、子どもから高齢者の方を対象に、府下様々な地域で会員の皆さまが活動できる体制を構築されました。2024・2025年度は会員同士がより「つながりあい、学び、届けられる組織へ！」をスローガンに、会員の皆さまを代表し活動させて頂く所存です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

当士会では、まず会員同士が府下近くの地域で「つながりあえる」ことを大切にしています。特に、各ブロックにおいて、臨床の悩みを話し合える場や、様々なライフステージにおける相談ができる場など、身近で「つながりあう」場をたくさん準備しています。また、休会制度をはじめ復職支援など、出産、介護など様々なライフスタイルにも安心して府士会と「つながれる」体制をより充実していく予定です。趣味活動を通じた楽しく気兼ねなく交流できる場も検討していきたいと思っております。

次に「学べる」場を大切にしていきます。卒業後すぐの方から経験豊富な方まで、府士会ならではの学ぶ場を多く準備しております。領域別の研修だけ

でなく、領域をまたいだ広い視野で考えることができる場や、職場での学びとは異なる視点を共有できると、日々の臨床がより充実したものになると思います。また就労、学校、予防、災害、運転など幅広い領域で作業療法士が活躍されています。その現場を知り、先導者から知識を伝達していただくことで日々の臨床のヒントにつなげて頂きたいと思っております。他では得られない「学び」の場にぜひご参加ください。

最後は「届ける」ことを大切にしています。今まで述べた「つながりあい、学べる」場があることを、身近に皆さまに届けていきます。20代、30代の会員が最も多い中、従来のニュース原稿やホームページのみならず、SNSも駆使しておりますが、より良い方法で皆様の声を届けて頂きたい。ぜひ、一つでも二つでも共に府士会で活動できると幸いです。また、府民にOTを「届ける」ことに注力いたします。超高齢社会に突入する中、地域共生社会の実現に向け、府下各市町村と協働し、介護予防事業や学校での支援をはじめ、障がいの有無に関わらず府民や他専門職への関わりが求められています。

大阪府下の作業療法士が「つながり、学び、届ける」。各々の線ではなく、大きな面となって、大阪府に作業療法の花が咲かせられるように努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。